



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2021 8



7月2日(金)、兵庫県民会館において「第99回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」が開催されました。昨年はコロナ禍で中止となりましたが、今年は会場参加を定員の半数以下とし、ライブ配信を行うなど、感染防止対策の上で実施しました。県内の生協・農協（JA）・漁協（JF）・森林組合（JForest）の組合員や役職員182人（会場141人、オンライン41人）がとどいました。第2部では、正木 明氏が「あなたの選択で変わる30年後の天気予報」をテーマに記念講演を行いました。（関連ページP.3）



兵庫県生活協同組合連合会 会長理事
生活協同組合コープこうべ 組合長理事

岩山 利久

(いわやま・としひさ)

今こそ助け合いの組織の力を

この度の第71回通常総会で会長理事に就任いたしました。微力ではありますが、連合会と県下の生協運動発展のため取り組みを進めて参りますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

私が所属しています生活協同組合コープこうべは、組合員や地域諸団体のお力添えで今年度創立100周年を迎えることができました。ただ、その道のりは平たんではなく、大きな三度の災害を乗り越えてきました。

一つ目は1938年の「阪神大水害」です。事業所や組合員宅、職員宅も甚大な被害を受け、助け合いの精神で乗り越えたと聞いています。

二つ目は「第二次世界大戦」です。1945年の神戸大空襲により、施設の大半を失うことになりました。しかし、組合員の協力もあり1946年には、神戸の住吉駅前に本部を移転し事業を再開しました。

三つ目は「阪神・淡路大震災」です。住吉の本部は倒壊し、多くの組合員宅多くの事業所も甚大な被害を受けました。その時に助けていただいたのが、他地域の生協の皆さんでした。「困ったときはお互い様」、この他生協の皆さんの想いを力に変え震災を乗り越えることができたと言っても過言ではありません。

多くの皆さんが、今直面している災害は「コロナ」です。去年から続いている「新型コロナウイルス感染症」の流行は、仕事や日常生活などに大きな影響を与え、流行の長期化により深刻さが浮き彫りになってきました。女性の完全失業者数は、2015年10月以降最多と言われており、ひとり親世帯の困窮状態の深刻化がさらに進んでいるとも言われています。

日本の協同組合運動の父と呼ばれる賀川豊彦は、コロナ禍による問題をどのように見ているのでしょうか。賀川は協同組合を「助け合いの組織」と表しました。コロナ禍による問題だけでなく、少子化と高齢化、多発する自然災害による被害などが問題化する中、人と人が助け合う協同組合の役割はますます重要になると考えます。兵庫県下の協同組合が力を寄せ合い、安心して暮らせる地域づくりを共に進めましょう。

最後になりますが、兵庫県下の協同組合が更に発展し地域社会に貢献することを願って、就任の挨拶とさせていただきます。

CONTENTS

- | | |
|--|--|
| 2. 想点 | 6. 協同組合のかけ橋 |
| 3. 国際協同組合デー・兵庫県記念大会 | 7. 兵庫県のページ/ヨッシーの窓 |
| 4. 生活問題研究会 報告/会員生協・団体人事/事務局人事異動あいさつ | 8. 「ひょうごまるごと健康チャレンジ2021」のご案内/県連行事予定/編集後記 |
| 5. 単協通信 兵庫県立大学生生活協同組合/
近畿労働金庫兵庫地区本部 | |

「国際協同組合デー」 兵庫県記念大会」を開催

7月2日(金)、兵庫県民会館 けんみんホールにおいて、「協同の力で未来を拓く」をテーマに、「第99回 国際協同組合デー・兵庫県記念大会」を開催しました。今年にはコロナ禍で兵庫県、神戸市をはじめご来賓の皆様にはビデオメッセージをいただき、大会には兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫JCC)を組織する生協、農協、漁協、森林組合の主催者団体の役職員、組合員など、182人が参加しました。

世界の協同組合に携わる人々が、平和とよりよい生活を築くために運動の前進を誓い合う「国際協同組合デー」は、毎年7月の第1土曜日と定められており、兵庫県では、この日を受けて、毎年7月に開催しています。また、同日、第38回兵庫JCC委員会が開催され、各協同組合(連合会)のトップが参加。活動報告および年度方針の確認、意見交換などを行いました。

当日は、青木 さやかさん(兵庫県森林組合連合会)の司会で開幕。感染防止対策のため会場参加を定員の半数以下にして、ライブ配信と合わせて182人が参加しました。

第一部の記念式典では、主催4団体を代表して兵庫県生活協同組合連合会 岩山 利久 会長理事が挨拶。続いて、兵庫県知事 井戸 敏三様、神戸市長 久元 喜造様、日本協同組合連携機構 代表理事 専務 比嘉 政治様からビデオメッセージでご祝辞をいただきました。

最後に、たじま JA 女性会 岡本 民子様「兵庫県下の生協・農協・漁協・森林組合の協同組合間連携を進め、地域の課題解決を通して豊かな地域社会を築くことを目指します。協同組合運動をより一層発展させましょう」と、「第99回 国際協同組合デー・兵庫JCC宣言」を力強く読み上げ、満場一致で採択されました。

第二部の記念講演では、気象予報士・防災士 正木 明 氏を迎え、「あなたの選択で変わる30年後の天気予報」と題して記念講演。日々目にする天気予報は防災につなげられることや、コロナ禍での気象状況の変化、また、地球温暖化の問題では私たちにできる具体的事例をあげて、わかりやすくお話しいただきました。



挨拶
兵庫県生活協同組合連合会
岩山 利久 会長理事



司会
兵庫県森林組合連合会
青木 さやか さん



兵庫 JCC 宣言
たじま JA 女性会
岡本 民子 会長



ビデオメッセージ
日本協同組合連携機構
比嘉 政治 代表理事 専務



ビデオメッセージ
神戸市
久元 喜造 市長



ビデオメッセージ
兵庫県
井戸 敏三 知事

第99回国際協同組合デー・兵庫県記念大会 兵庫 JCC 宣言

国際協同組合デーは、1923年に「国際協同組合同盟 (ICA)」が提唱し、協同組合運動を全世界で発展させ、協同組合の理念と価値を広げ、より良い社会を築くことを目指して、開催されてきました。

本日、第99回国際協同組合デー・兵庫県記念大会を開催し、兵庫県内の生協、農協、漁協、森林組合の協同組合関係者が一堂に集まり、心を一つにして協同組合運動のさらなる発展を誓う日を迎えることができました。

今年には賀川豊彦たちの指導により、1921年に神戸、灘の両購買組合が設立されて100年目を迎えます。その間、多くの困難がありました。そのたびに様々な協同組合が力を結集して、乗り越えてきました。それは協同組合が地域に根ざした組織として、組合員のより良い暮らしを実現するために、相互扶助の精神に基づき、日々活動を続けてきたからに他なりません。

ICAは今年の国際協同組合デーの世界共通テーマを「協同組合は、力を合わせて、コロナ後の社会の再建に貢献します」としました。コロナ禍が人びとの健康と命を危険にさらし、経済活動を混乱させています。こうした困難な状況では、一人ひとりが自らを守る自助では限界があり、公助とともに、力を寄せ合い、協同することが大切です。コロナ禍は、私たちの社会が抱えてきた問題を露わにすると同時に、日々のくらしや仕事が多くの人たちに支えられていることを示し、多くの人たちが協同することに一層確信を持つようになりました。社会のあり方を見直す気運が高まる中、協同組合運動に対する理解をより一層広げていく必要があります。

兵庫JCCは「協同の力で未来を拓く」をスローガンに、目的が異なる協同組合が集まっており、お互いの特徴をいかした協同組合間連携を進め、国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成をめざし、地域の課題解決を通して、豊かな地域社会を築くことを目指します。

わたしたちは、先人たちの志を次世代へとつなぐために行動し、協同組合運動をより一層、発展させることをここに宣言します。



「第38回兵庫 JCC 委員会」が開催されました

兵庫 JCC =
兵庫県協同組合連絡協議会とは
【Hyogo-ken Joint Committee
of Co-operatives】

兵庫県協同組合連絡協議会(兵庫 JCC)は、兵庫県内の生協、JA(農協)、JF(漁協)、JForest(森林組合)の相互交流と連携強化を目的に、1984年7月の第62回国際協同組合デーを機に設立したもので、今年で38年目を迎えました。

第2回 生活問題研究会を開催

7月9日(金)、第2回生活問題研究会を県民会館/オンライン併用で開催しました。

この研究会では2021年度のテーマ「農福連携（障がいがある人をはじめとする多様な人が、農業などの分野で活躍することを通じて持続可能な共生社会を生み出す取り組み）」に沿って、生協がどのような役割を果たせるかを考えています。

第1部では、実際に施設外就労を受け入れている圃場を見学してきたメンバーから報告がありました。障がいのある人に通年で作業する場所を確保するために、花苗を主としている農地でレタスやトマト、ベビーリーフを植えるように工夫したことや、これからは作った野菜をコミュニティ食堂などで食べる場を作りたいと思っていること、働く人と受け入れる人それぞれが抱えている問題点などについて話を聞きました。

第2部では、「NPO 法人兵庫セルフセンター」事務局長 協原隆司氏から、「農福連携の事例」と題してご講演いただきました。いくつかの成功事例の中から、たくさんの学びがありました。また、今回は研究会の拡大版として委員以外の方にも参加いただきました。講演後の参加者との意見交流では、他県（栃木県）のワイン製造事業体の母体になっている「こころみ学園」という障がい者の生活介助施設も紹介されました。

農業からの立場、福祉からの立場、それぞれの深掘りを次回以降進めていき、10月には複数の現地視察を計画しています。



「NPO 法人兵庫セルフセンター」
事務局長 協原 隆司氏



会場とオンラインでのハイブリッド形式で
開催しました

◆ ◆ ◆ 会員生協・団体人事 ◆ ◆ ◆

生協名	役職名	氏名
生活協同組合コープこうべ	理事長	馬場 一郎
生活協同組合コープこうべ	組合長理事	岩山 利久
生活協同組合コープ自然派兵庫	専務理事	横川 誠也
甲南女子大学生生活協同組合	専務理事	金保 吉郎

生協名	役職名	氏名
生活協同組合連合会大学生協事業連合関西北陸地区	業務統括	野尻 郁智
ろっこう医療生活協同組合	理事長	小西 達也
姫路市民共済生活協同組合	理事長	中川 勝正
兵庫労働共済生活協同組合	理事長	住山 弘司

兵庫県生活協同組合連合会 ～事務局人事異動あいさつ～

●着任のご挨拶

このたび、コープこうべより着任いたしました、吉本晴子と申します。コープこうべ在任中は店舗供給事業に携わっておりました。多くの組合員、地域住民の方々と直接関わり、生協の良さを身をもって体験してまいりました。兵庫県内にたくさんの協同組合があることをあらためて知り、学ぶことばかりです。これからたくさんの協働や相互理解が進むことへの期待がふくらんでいます。会員生協・団体や関係者の皆さまとともに歩んでいけるよう、精一杯役目を務めさせていただきます。ご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

吉本 晴子



兵庫県立大学生生活協同組合

大学生への食の応援に協力

7月初旬、兵庫県立大学生への「食の支援」を実施しました。この取り組みは、コロナ禍で経済的に困窮する学生への支援を企画した兵庫県立大学からの要請に協力したもので、兵庫県立大学生協で調達したパックごはんやレトルトカレー、ラーメン、缶詰等を仕分け・梱包。「コープ商品詰め合わせセット」として700箱を学生へ送りました。また、8月には第2弾として150箱の発送を予定しています。

県内にある11の大学生協では、この間様々な学生への支援を行っています。コロナ禍、コロナ後の学生生活が充実したものとなるようこれか



調理の必要がなく、日持ちするコープ商品を選びました

らも支援や協力を続けていきます。

(通信員 末松泰信)



手渡できないことは残念でしたが、自宅で開梱した時の学生さんの顔を思い浮かべながら丁寧に梱包しました

近畿労働金庫兵庫地区本部

多彩な子育て支援を行う市民活動を応援

～2020年度「近畿ろうきんNPOアワード」受賞団体決定～

「近畿ろうきんNPOアワード」は、はたらく仲間の《ろうきん》利用が、地域貢献につながる仕組みをめざした公募型の助成プログラムです。

2020年度は近畿一円の46件の応募の中から、厳正な審査により8つの受賞団体（大賞1団体、優秀賞1団体、奨励賞4団体、はぐくみ賞2団体）を決定。大賞には兵庫県の「一般社団法人笑いの保育わくわく」が輝きました。また、同じく兵庫県の「NPO法人月と風と」が奨励賞を受賞しました。

本アワードへは、社会のネットワークが届かない子どもと親に着目したプログラムの応募が多く、加えて今回は、「オンラインを活用した相談・動画画配信」「子育て家庭への食料支援」「テレワークなど働き方の変容による産後うつや虐待の増加に対する取組み」など、コロナ禍の切実なニーズに対応した取組みが目立ちました。

本アワードは今回で15回目となりました。《ろうきん》の特性を生かした社会に役立つ事業として、今後も、兵協連に集う皆さんや、《ろうきん》の会員組合に広く知っていただけるよう努めていきます。

(通信員 井奥 眞貴子)

2020年度 近畿ろうきん 社会貢献活動 助成金・寄付金のご報告
2021年6月23日 近畿労働金庫 第33回運営総会 報告資料

NPOアワード受賞団体のご報告
近畿ろうきんNPOアワードは、「子どもの成長を応援する事業」、「子育て環境を築く事業」を実施する近畿圏のNPO等の団体から事業プランを募集し、審査委員会の審査によって受賞団体を決定する制度です。2020年度に對する助成金・寄付金の総額0.05%（173万円）を奨励賞に充当しています。2020年度は46件の応募があり、その中から下記の団体が受賞されました。

賞格	団体名	活動内容
大賞	一般社団法人 笑いの保育わくわく(兵庫)	子育ての孤立を、虐待を未然で防ぐ。コロナ禍の子育て困難に対応したオンライン支援プログラム
奨励賞	NPO法人 月と風と(兵庫)	WE-AN MEETS! (オンライン) 子育て支援の場として、親子のつながりを支える。親子のつながりを支える。親子のつながりを支える。
優秀賞	NPO法人 こどもソーシャルワークセンター(奈良)	子育て支援の場として、親子のつながりを支える。親子のつながりを支える。親子のつながりを支える。
はぐくみコース	子育て支援サークル 野の花ぽつとスペース(兵庫)	子育て支援の場として、親子のつながりを支える。親子のつながりを支える。親子のつながりを支える。
はぐくみコース	サステナユ(ユー)(兵庫)	子育て支援の場として、親子のつながりを支える。親子のつながりを支える。親子のつながりを支える。

JF

JF 仮屋青壮年部

JF 仮屋青壮年部による 水産教室開催

6月8日(火)、JF 仮屋青壮年部（相田博史部長）は淡路市学習小学校5年生約50名を対象に、様々な体験を交えた水産教室を開催し、漁業についての理解を深めました。

当日は天候にも恵まれ、児童たちは、仮屋漁港内で数隻の漁船に分乗し、小型底曳き網漁の揚げ網作業を海上で見学、鯛やタコなどが揚がる様子に、「タコ動いてる」、「この魚知ってる」など、参加した児童たちは目を輝かせながら、魚に触れる体験を楽しんでいました。

帰港後は、県洲本農林水産振興事務所水産課の寺田さん、石谷さんから、県内で漁獲される魚の種類や漁法について、JF 仮屋青壮年部 山口公明さんからは、地元仮屋の漁業についてのお話があり、自分たちの地元が漁業の活発な地域であるということを知っていました。最後に、クイズ大会も行われ、参加した児童たちにとっては、普段できない漁船への乗船体験など、貴重な思い出の日になりました。

相田部長からは、「児童が地元の魚に直接触れ、魚を知ってもらえる良い機会であるので、今後も続けて行きたい」と話がありました。



魚を手取る
児童



児童に説明する
山口さん

JA

JA たじま

但馬を代表する特産品「たじまピーマン」で 農業所得増大をめざす

但馬地域は、夏から秋にかけて収穫する「たじまピーマン」の産地です。豊岡市では約50年前から栽培されており、現在は但馬全域で栽培される一大特産品となっています。

豊岡市出石地区の瀬尾雅仁さんは、夏場の収入源となる作物の栽培を考えていました。妻の由香李さんに負担がかからないように、女性でも作業がしやすい品目を探していたところ、JA たじま出石営農生活センターで営農相談員をしている相地久和さんから、たじまピーマンの栽培について提案を受けました。瀬尾さんは、JA たじまがピーマンを特産振興の重点品目に位置付けていることもあり、相地さんの豊富な知識を頼りにピーマン栽培を始めました。

100本から開始した瀬尾さんは、3年目となる現在は1,200本（18a）を栽培しています。栽培の拡大には相地さんとの信頼関係がありました。「ピーマンの圃場を見ると相地さんが様子を見に来てくれていて、僕以上にピーマンのことを気にかけてくれる姿に、増やしていきたい気持ちが後押しされた」と話します。

相地さんは「なによりも農家さんのやる気を応援できるように、受けた相談には素早く対応することを心掛けている」と話します。

たじまピーマンの特産振興の取り組みの結果、今年度はピーマン協議会に所属する173人が10万7,000本を栽培する関西最大級の夏秋ピーマン産地となっています。

JA たじまは生産者とともに、高い品質と安定した収量を実現し、さらなる産地拡大をめざしています。



ピーマンの生育状況を確認しながら会話をしている瀬尾雅仁さん（左）、妻の由香李さん（中央）と相地久和さん



最近の消費生活相談事例

新型コロナワクチン詐欺にご注意

Q1

自宅に男性が訪問してきて「ワクチン接種の予約を代理で申請するので、2万円を準備しておくように」と言われたが、本当か。(70歳代、男性)

Q2

3千円でワクチンの優先接種ができるという手紙が市役所から送られてきた。(80歳代、女性)

Q3

「高齢者は優先的にワクチン接種されるが、その費用は還付されるので、手続きのためATMに行くように」との電話が市役所からあった。(80歳代、女性)

A

兵庫県内の消費生活センターには、新型コロナワクチンの接種に便乗した消費者トラブルや悪質商法に関する相談が寄せられています。十分注意しましょう。

◎ワクチン接種は無料です

「接種のための費用、優先接種を受ける費用」などを要求する手口は詐欺です。

◎個人情報を聞かれても答えない

行政機関がワクチン接種に必要という理由で、個人情報や金融機関情報などを聞くことはありません。

◎おかしいと思ったらすぐ相談しましょう

- ・国民生活センター「新型コロナワクチン詐欺 消費者ホットライン」

0120-797-188

- ・消費生活センター「消費者ホットライン」

局番なし 188番（お近くの消費生活センターにつながります）



(兵庫県立消費生活総合センター ☎078-303-0999)

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓



みなさま、こんにちは。適格消費者団体NPO法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。暑い暑い毎日ですね。暑いのが苦手、どうしても、この季節は元気が出ません。夏のレジャー、旅行などで気分転換もいいですね。ですが、レジャーや旅行も、なんだかんだ事情があり、腰が重く、結局、毎日、コーヒーを飲んで仕事しています。

さて、IT化のお話をしていました。日本でも、裁判のIT化が検討されています。IT化と言っても、パソコンなどを使って、オンラインで申立てできるようにしたり、オンラインで、裁判所とやりとりできるようにしたり、といった内容です。けれども、裁判所のシステムが複雑だったり、パソコンやオンラインでのやりとりになじみないと、裁判を利用することが困難になってしまいます。IT化の進んでいる外国、例えばシンガポールでは「Automated Court Documents Assembly」(ACDA) というシステムがあり、本人が必要な情報を入力すると申請書ができる、という仕組みがあるようです。日本でも、コロナワクチン接種のため、オンライン予約を手助けする「お助け隊」というものがありました。IT化と併せて、このような「お助け隊」も必要だと感じます。個人的には、ITは、慣れている人とそうでない人の差が激しいと感じています。IT化の波は止められません。私自身も、新しいITサービスを試してみても失敗したりと、模索中です。ひょうご消費者ネットでもwebでいろいろできるように工夫中です。みなさまと一緒にITに慣れ親しんでいけたらと思います。(ひょうご消費者ネット 理事 司法書士 吉江直記)

ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com

MOVE

「ひょうごまるごと健康チャレンジ2021」

チャレンジ期間 ~2021年12月31日(金)

「ひょうごまるごと健康チャレンジ」は、運動、リフレッシュ、生活習慣、食事、の4つのコースから参加者が自分に最適な「健康チャレンジ」をみつけて、気軽に健康習慣づくりができる取り組みです。期間中30回チャレンジしたら「はがき」か「Web」で結果を報告！抽選でJTBギフト券が当たります。

目標はアレンジしたり自分流メニューでもOK！ぜひ自分の「健康」に関して考えてみて、参加してみませんか。達成したときの充実感はずっと健康づくりの成果に比例すると思いますよ。皆さまのご参加をお待ちしています。お一人での参加はもちろん、お友達や家族、職場や学校の仲間、ご近所さんともどうぞ。

チャレンジシートはこちらから



兵庫県生協連 健康チャレンジ

検索



県連行事予定

- 8月2日(月) 兵協連第2回理事会・兵庫県企画県民部と兵協連理事会との懇談会 (県民会館7階 鶴)
- 8月4日(水) 兵庫JCC 「虹の仲間づくりカレッジ」 (コープこうべ協同学苑)
- 8月5日(木) ピースアクション2021 「おかあさんの被爆ピアノ」 映画上映&ジュニアコーラス (県民会館9階けんみんホール) 兵協連第2回災害対策委員会 (オンライン)
- 8月19日(木)
- 8月27日(金)



編集後記

国際協同組合デーで講演して下さった気象予報士正木明さんが、地震や津波などの自然災害の中で気象災害は唯一予測できる。天気予報は防災につながれる、と話されていました。皆さんはいざという時の行動を決めていますか。8月号が皆さまのお手もとに届く頃には熱中症、ワクチン接種、オリンピック、という言葉が会話に増える夏本番でしょう。暑さに負けず元気に過ごしましょう！